

挨拶

石山 信郎（文部科学省 研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室 室長補佐）

石山氏は冒頭、「本年（令和元年）の災害は、同時多発広域災害であり、今回のシンポジウムでは台風災害に関して防災科学技術研究所が中心となって行ったさまざまな活動が紹介される」と本シンポジウムへの期待を語りました。さらに「災害時において、ライフラインや交通インフラの復旧・復興状況は特に重要な情報。それをテーマとしたインフラ分科会が立ち上がったということで、今後の活動に期待したい」と語りました。

最後に石山氏は「災害時にどのようなデータや情報が利活用できるのか、今後の首都圏を中心とした日本全体のレジリエンス総合力の向上・強化に向けて、デ活が取り組むべき課題などについて議論を進めていただきたい」と述べました。



冒頭あいさつする石山氏